

SEAT STRUCTURE FOR VEHICLE

Patent Number: JP7052716
Publication date: 1995-02-28
Inventor(s): SAKURAI AKIHIRO; others: 02
Applicant(s): SUZUKI MOTOR CORP
Requested Patent: JP7052716
Application Number: JP19930198178 19930810
Priority Number(s):
IPC Classification: B60R7/04; A47C7/62
EC Classification:
Equivalents: JP3070811B2

Abstract

PURPOSE: To improve the rigidity of a flange part of a storing container by providing the flange part at least on the upper part of both side parts of the storing container which is removably mounted on the lower part of a cushion body, and forming a plurality of ribs in the longitudinal direction of the flange part and in the crossing direction on the inner surface side along the longitudinal direction.

CONSTITUTION: A storing container 27 which is removably arranged in the space on the lower side of a cushion body 5 is provided with a flange part 28 at the upper end of the front and rear parts and both side parts facing outward, and the flange part 28a at the front part is loaded on a front pipe 8 of a cushion frame 4. Flange parts 28b of both side parts are loaded on upper end pipe frame parts 7a of side frames 7, 7 of the cushion frame 4 to suspend the storing container 27. A plurality of ribs 28d in the longitudinal and crossing directions of the flange part 28 are formed on the inner surface side of the flange part 28 on each side along the longitudinal direction at the prescribed space. As a result, the storing container 27 can improve the rigidity of the flange part 28b.

Data supplied from the **esp@cenet** database - I2

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-52716

(43)公開日 平成7年(1995)2月28日

(51)Int.Cl.⁶
B 60 R 7/04
A 47 C 7/62

識別記号 庁内整理番号
S 8012-3D
A 8313-3K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2 O.L (全7頁)

(21)出願番号 特願平5-198178

(22)出願日 平成5年(1993)8月10日

(71)出願人 000002082
スズキ株式会社
静岡県浜松市高塚町300番地

(72)発明者 横井 昭弘
静岡県浜松市高塚町300番地 スズキ株式
会社内

(72)発明者 鈴木 昌宏
静岡県浜松市高塚町300番地 スズキ株式
会社内

(72)発明者 鈴木 義孝
静岡県小笠郡大東町大坂2167

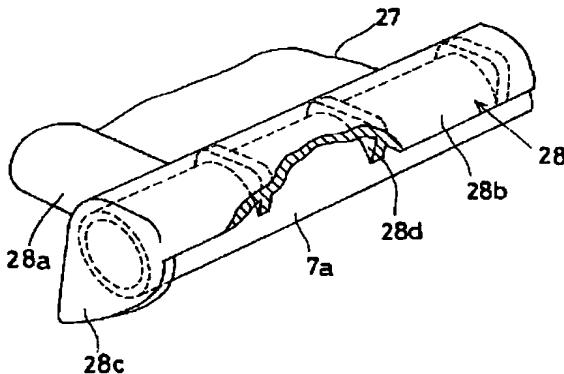
(74)代理人 弁理士 奥山 尚男 (外2名)

(54)【発明の名称】 乗り物用シート構造

(57)【要約】

【目的】 本発明は、収納容器のフランジ部の剛性を向上することができる乗り物用シート構造を提供することを目的とする。

【構成】 本発明は、クッションフレーム4とクッション本体5からなるシートクッション2と、このシートクッション2の後端部に装着されたシートパック3で構成され、上記シートクッション2のクッション本体5を前端部を中心に前方に向けて回動可能に上記クッションフレーム4に装着し、該クッション本体5の下部側空間部に、収納容器27を脱着可能に取付けた乗り物用シート構造において、上記収納容器27の少なくとも両側部の上端に、上記クッションフレーム4の両側部上端パイプ部に係合するフランジ部28bを設け、該フランジ部28bの内面側に、該フランジ部28bの長手方向と交叉する方向のリブ28dを、フランジ部28bの長手方向に沿って所定間隔で複数個、形成したことがある。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 クッションフレームとクッション本体からなるシートクッションと、このシートクッションの後端部に装着されたシートバックで構成され、上記シートクッションのクッション本体を前端部を中心に前方に向けて回動可能に上記クッションフレームに装着し、該クッション本体の下部側空間部に、収納容器を脱着可能に取付けた乗り物用シート構造において、上記収納容器の少なくとも両側部の上端に、上記クッションフレームの両側部上端パイプ部に係合するフランジ部を設け、該フランジ部の内面側に、該フランジ部の長手方向と交叉する方向のリブを、フランジ部の長手方向に沿って所定間隔で複数個、形成したことを特徴とする乗り物用シート構造。

【請求項2】 上記フランジ部を収納容器の外側に向けて横断面半円状に形成し、該フランジ部の内面側に上記リブを形成したことを特徴とする請求項1に記載の乗り物用シート構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、クッション本体の下部側空間部に収納容器を設けた乗り物用シート構造に関する。

【0002】

【従来の技術】 自動車等の乗り物では、室内空間が限られていることから、荷物の収納には自ずから限りがある。そこで、たとえば、自動車ではシート下部空間を利用するようにしたものがある。

【0003】 図15はシート下部空間を利用して収納部を設けるようにしたシート構造で、このシート構造はシートクッション100の下部空間に、前後方向に互いに対向するレール101を設け、このレール101に沿ってスライド可能なアンダートレイ102を設けたものである。この従来技術によると、アンダートレイ102の取り外しを簡単に行うことができないばかりでなく、後部座席からの取り出しが不可能であった。

【0004】 そこで、自動車の助手席側のシートのクッション本体を前方に立ち上がるよう回動させて、クッション本体の下部空間を利用するようにした従来技術（実開平2-61746号公報）が知られている。この従来技術は、図16に示すように、クッション本体103の前端をフレーム104に回動可能に装着し、このフレーム104の内側に箱状体105を配置したものである。

【0005】 この従来技術は箱状体105の内部を物入れに利用するもので、クッション本体103を前方に引き起こして、箱状体105の上面を開口するようにしたものである。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記従

10

20

30

40

来技術によると、箱状体105の取り出しが困難で、箱状体105を籠代わりに持ち運ぶことはできなかった。また、箱状体105がフレーム104内でガタ付く虞がある。また、クッション本体103の隙間に手を入れてクッション本体103を引き起こすのが困難であった。さらに、箱状体105に代えて、図18に示すように、収納容器106の容積を大きくして重量物107を入れると、収納容器106の吊り下げ部108が曲がり収納容器106が破損する虞がある。

【0007】 本発明は上記課題を解決し、収納容器のフランジ部の剛性を向上することができる乗り物用シート構造を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】 本発明は上記課題を解決するため、クッションフレームとクッション本体からなるシートクッションと、このシートクッションの後端部に装着されたシートバックで構成され、上記シートクッションのクッション本体を前端部を中心に前方に向けて回動可能に上記クッションフレームに装着し、該クッション本体の下部側空間部に、収納容器を脱着可能に取付けた乗り物用シート構造において、上記収納容器の少なくとも両側部の上端に、上記クッションフレームの両側部上端パイプ部に係合するフランジ部を設け、該フランジ部の内面側に、該フランジ部の長手方向と交叉する方向のリブを、フランジ部の長手方向に沿って所定間隔で複数個、形成したことを特徴とする。

【0009】

【作用】 収納容器を使用するときは、クッション本体のバンドを引くと、ラッチ本体が引かれてストライカとの係合が解除される。そして、バンドを更に引いてクッション本体を引き起こす。こうして、クッション本体はヒンジを中心に回動して前方に引き起こされる。クッション本体が引き起こされると、収納容器の上面が開口して、買い物等をした荷物を収納容器内に収納することができる。収納容器は取っ手を留め部から外して、引き上げることにより、サイドフレームの上端フレーム部から外して持ち歩くことができる。収納容器は少なくとも両側部の上端に、上記クッションフレームの両側部上端パイプ部に係合するフランジ部を設け、フランジ部の内面側に、該フランジ部の長手方向と交叉する方向のリブを、フランジ部の長手方向に沿って所定間隔で複数個、形成したので、収納容器のフランジ部の剛性を向上することができる。

【0010】

【実施例】 以下、図面を参照しながら、本発明の一実施例を詳細に説明する。図1ないし図4において、1は自動車の助手席に適用されたシートである。このシート1はシートクッション2と、シートクッション2の後端部にリクライニング機構（図示せず）を介して設けられたシートバック3とで構成されている。シートクッション

2はクッションフレーム4とクッション本体5とで構成されており、クッション本体5はクッションフレーム4との間に設けられたヒンジ機構6を介して前端部を中心にして前方に向けて回動可能に設けられている。

【0011】上記クッションフレーム4は、図5ないし図7に示すように、パイプフレームを四辺形に構成した一対のサイドフレーム7、7と、これらサイドフレーム7、7の前端上部相互間および後端上部相互間に掛け渡された前部パイプ8および後部パイプ9とで構成されている。このクッションフレーム4の片側のサイドフレーム7にはシートベルト用バックル10が装着されている。

【0012】クッションフレーム4の下部にはプラケット11が溶着されており、このプラケット11をスライドレール12に取り付けている。このスライドレール12は上記プラケット11にボルト13およびナット14を介して固定されるアッパーレール15と、このアッパーレール15をスライド可能に支持すると共にフロア16に設けられたプラケット17等に前後のプラケット18を介して固定されるロアレール19とで構成されている。このプラケット18はロアレール19の前部に設けられたプラケット18aと、ロアレール19の後部に設けられたプラケット18bの他にロアレール19の後部室内側のプラケット18bに一体成形され、かつフロア16中央のフロアトンネル(図示せず)に固定されるプラケット18cで構成されている。このスライドレール12のアッパーレール15とロアレール19は横断面二字型のレール部15a、19aを互いに対向させて構成され、アッパーレール15の上部側フランジ部15bをロアレール19の上部側フランジ部15bの下部側に位置するように横断面U字状に形成し、ロアレール19の下部側フランジ部15cをアッパーレール15の下部側フランジ部15cの上部側に位置するように横断面逆U字状に形成している。

【0013】上記クッションフレーム4の外側面にはカバー20が設けられており、このカバー20の外側にリクライニング装置のレバー21が設けられている。上記クッション本体5の後端部にはクッション本体5を引き起こすバンド22が設けられており、このバンド22はクッション本体5に設けられたラッチ機構23を解除するためのものである。ラッチ機構23は図8に示すように、ラッチケース24内に内蔵されたバネ(図示せず)によってラッチ本体25が付勢されており、このラッチ本体25に係合するストライカ26がクッションフレーム4の後部パイプ9に装着されている。ラッチ機構23は上記バンド22を引くことでラッチ本体25をバネに抗して作動し、ラッチ本体25とストライカ26の係合を解除するものである。

【0014】27は上記クッション本体5の下部側空間部に、脱着可能に配設された収納容器であり、この収納

容器27は、図9ないし図15に示すように構成されている。この収納容器27は前後および両側部上端に外側に向けて横断面半円状のフランジ部28を設け、該フランジ部28のうち前部のフランジ部28aをクッションフレーム4の前部パイプ8に載せ、上記クッションフレーム4の上端両側部、すなわち、クッションフレーム4のサイドフレーム7、7の上端パイプフレーム部7aに上記フランジ部28のうち両側部のフランジ部28bを載せて収納容器27を吊り下げたものである。この両側のフランジ部28bの先端には上記サイドフレーム7、7の上端パイプフレーム部7aの開口端面を覆うカバーフランジ28cが設けられ、収納容器27の後方への動きを係止している。この収納容器27の両側フランジ部28の内面側には、フランジ部28の長手方向と交叉する方向のリブ28dが、長手方向に沿って所定間隔で複数個、形成されている。

【0015】この収納容器27には、両側上端部に、ワイヤー製の取っ手29の両端が回動可能に装着されており、この取っ手29は収納容器27の前端部上面に一体成形で設けられた留め部30に係止されている。この留め部30は取っ手29の回動位置に取っ手29を留めるスリット31を形成するように、収納容器27の一部を観音開きに切り起したものである。

【0016】上記構成による乗り物用シート構造によると、収納容器27を使用するときは、クッション本体5のバンド22を引くと、ラッチ本体25が引かれてストライカ26との係合が解除される。そして、バンド22を更に引いてクッション本体5を引き起こす。こうして、クッション本体5はヒンジ機構6の回転中心を軸に回動して前方に引き起こされる。

【0017】クッション本体5が引き起こされると、収納容器27の上面が開口して、買い物等をした荷物を収納容器27内に収納することができる。収納容器27は取っ手29を留め部30から外して、引き上げることにより、サイドフレーム7、7の上端パイプ部7aから外して持ち歩くことができる。

【0018】収納容器27をサイドフレーム7、7の上端パイプ部7aにフランジ部28bを、クッションフレーム4の前部パイプ8にフランジ部28aを介して取付け、クッション本体5を後ろに倒すとラッチ本体25がストライカ26に係合してクッション本体5がロックされる。このとき、サイドフレーム7、7の上端パイプフレーム部7aの端面に収納容器27のカバーフランジ28cが係止されるので収納容器27の位置決めを図ることができる。この収納容器27は両側フランジ部28bにリブ28dを形成しているので、フランジ部28bの剛性を向上することができる。

【0019】なお、本発明は上記実施例に限定されず、たとえば、乗り物用シート構造は自動車の助手席シートに限らず、運転席シートに適用することもできる。ま

た、ワンボックスカー等の後部シート、あるいは、船外機等を備えた船の乗員、客席シートにも適用することができる。

【0020】

【発明の効果】以上述べたように、本発明による乗り物用シート構造によれば次のような効果を奏することができる。請求項1において、クッションフレームとクッション本体からなるシートクッションと、このシートクッションの後端部に装着されたシートバックで構成され、上記シートクッションのクッション本体を前端部を中心 に前方に向けて回動可能に上記クッションフレームに装着し、該クッション本体の下部側空間部に、収納容器を脱着可能に取付けた乗り物用シート構造において、上記収納容器の少なくとも両側部の上端に、上記クッションフレームの両側部上端パイプ部に係合するフランジ部を設け、該フランジ部の内面側に、該フランジ部の長手方向と交叉する方向のリブを、フランジ部の長手方向に沿って所定間隔で複数個、形成したので、フランジ部の反り返りを防止して、収納容器のフランジ部の剛性および外観の向上を図ることができる。リブを介してクッションフレームに接触するので、収納容器のフランジ部が全面でクッションフレームに接触する場合に比べて接触音を小さくする事ができる。請求項2において、収納容器のフランジ部を収納容器の外側に向けて横断面半円状に形成し、該フランジ部の内面側に複数のリブを形成したので、クッションフレームに対して収納容器の収納位置を設定する事ができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による乗り物用シート構造の一実施例を示す斜視図である。

【図2】図1のクッション本体を引き起こした状態を示す斜視図である。

【図3】図2の収納容器を引きだした状態を示す斜視図である。

【図4】図1のシートクッションを示す右側面図である。

【図5】本発明による乗り物用シート構造のクッションフレームを示す斜視図である。

【図6】クッション本体を外した状態のクッションフレームを示す斜視図である。

【図7】図5のスライドレールを示す正面図である。

【図8】ラッチ機構を示す斜視図である。

【図9】収納容器を示す斜視図である。

【図10】収納容器を示す正面図である。

【図11】収納容器を示す平面図である。

【図12】収納容器を示す側面図である。

【図13】収納容器とクッションフレームを示す部分断面斜視図である。

【図14】収納容器のフランジ部を示す一部切り欠き断面図である。

【図15】図13のA-A線断面図である。

【図16】従来の自動車用シート構造を示す斜視図である。

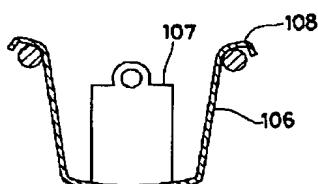
【図17】従来の自動車用シート構造を示す斜視図である。

【図18】収納容器をクッションフレームに吊り下げた状態を示す概念断面図である。

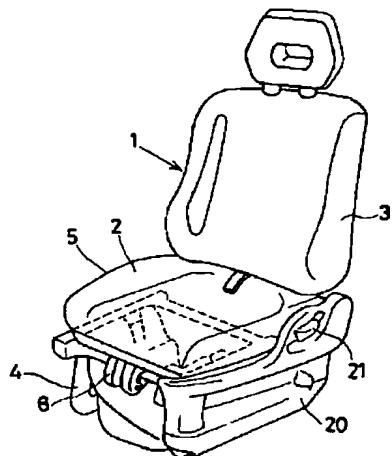
【符号の説明】

1	シート
2	シートクッション
3	シートバック
4	クッションフレーム
5	クッション本体
6	ヒンジ機構
7	サイドフレーム
8	前部パイプ
9	後部パイプ
10	シートベルト用パックル
11	ブラケット
12	スライドレール
15	アッパーレール
16	フロア
19	ロアレール
22	バンド
23	ラッチ機構
26	ストライカ
27	収納容器
28、28a、28b	フランジ部
28d	リブ
29	取っ手
30	留め部
31	スリット

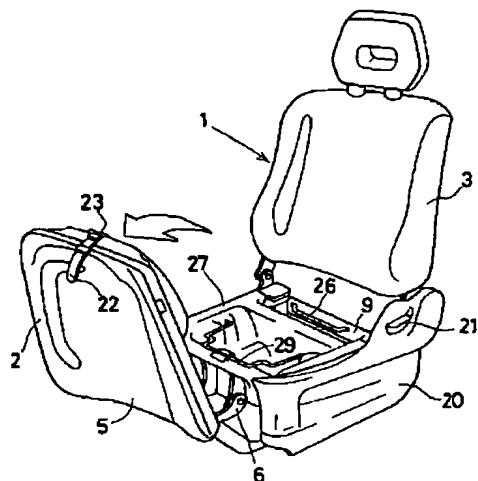
【図18】



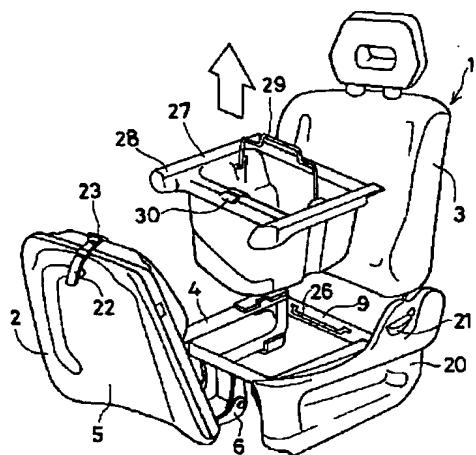
【図1】



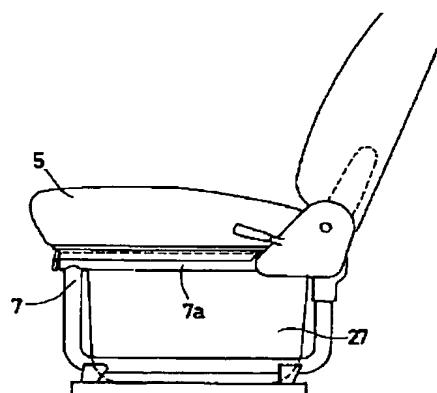
【図2】



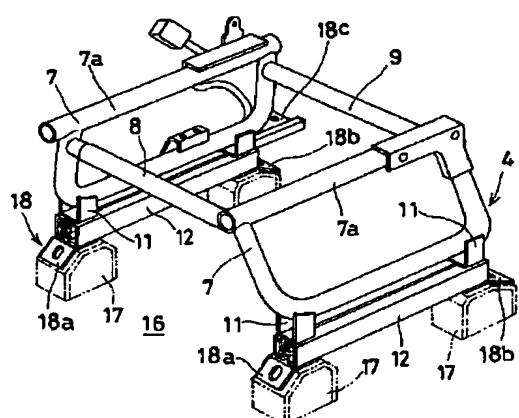
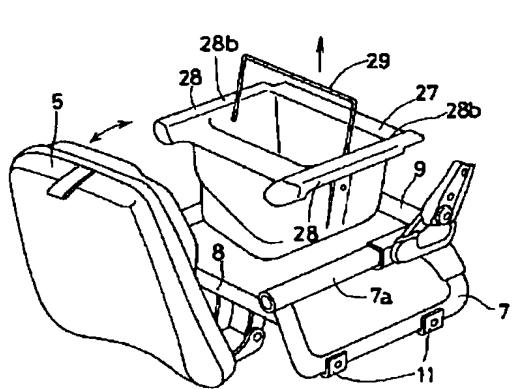
【図3】



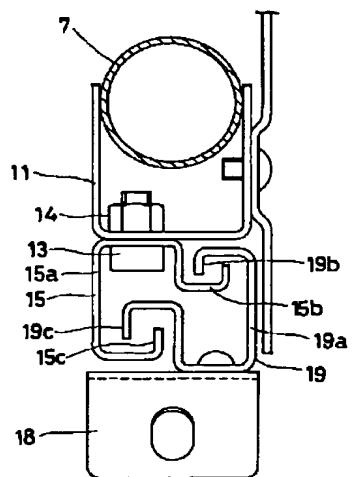
【図4】



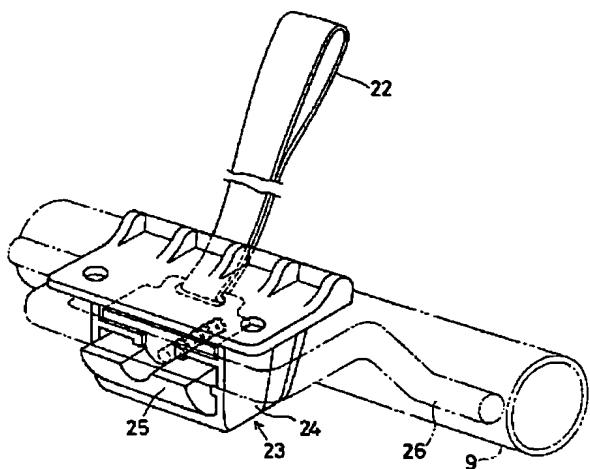
【図6】



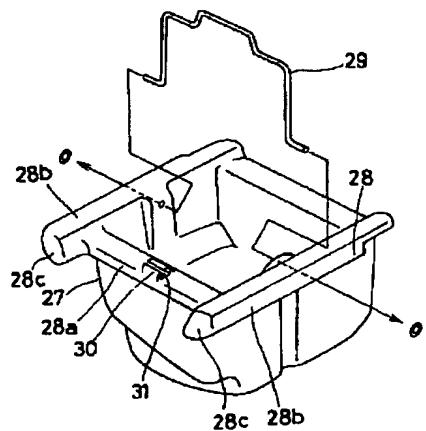
【図7】



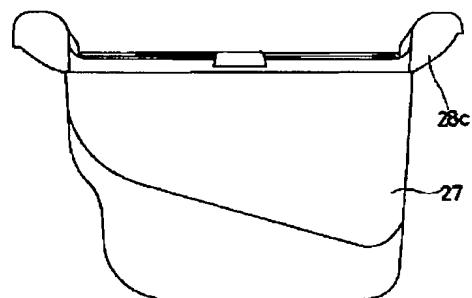
【図8】



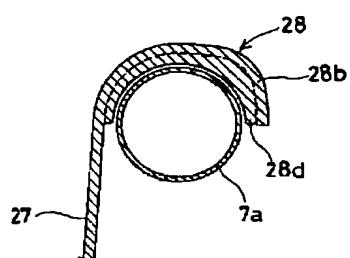
【図9】



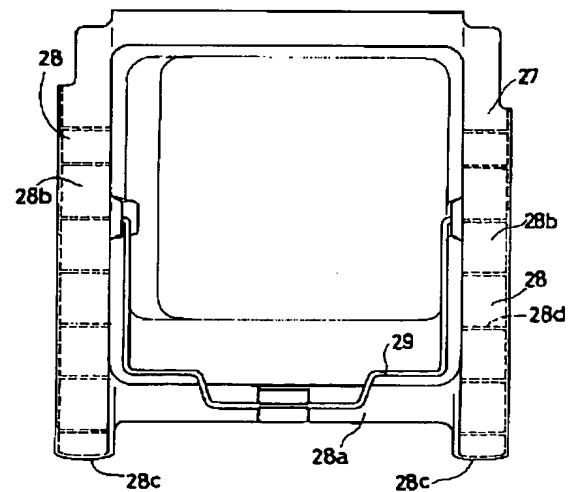
【図10】



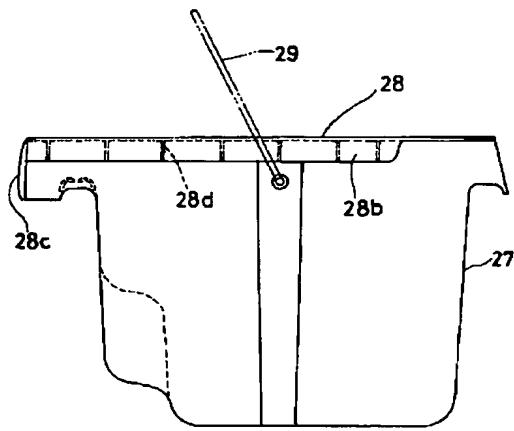
【図15】



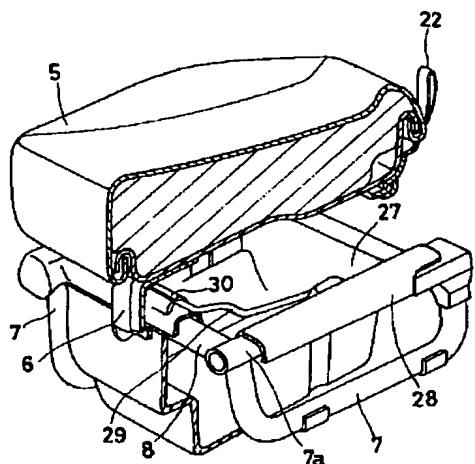
【図11】



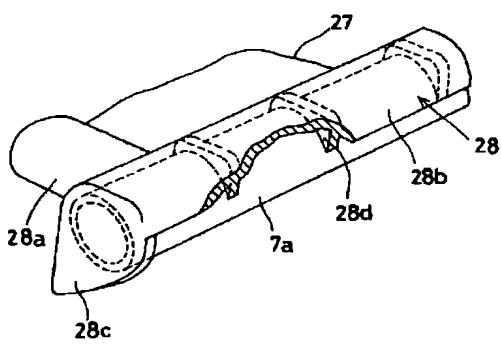
【図12】



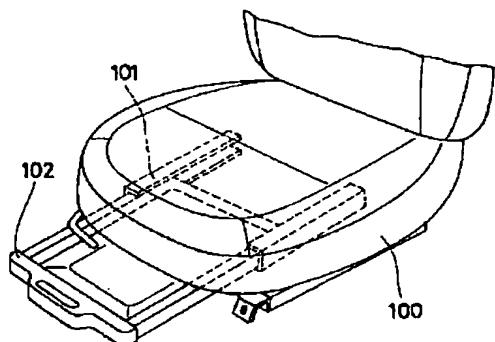
【図13】



【図14】



【図16】



【図17】

